

# 南薩教育事務所だより

令和3年12月発行

## 「業務改善で生まれる時間」

総務課長 吉村 正洋

毎日、通勤途中に見かける赤や青、黒、紫、ピンク色など、様々な色のランドセルを背負って元気に登校する小学生の姿は、私たちが明るい気持ちにさせてくれます。以前、ランドセルの色は赤と黒が一般的でしたが、様々な色やデザインのものが増えてきました。

県教育委員会において、平成31年3月に長時間勤務の削減方策として「学校における業務改善アクションプラン」が策定され、働き方改革を通じた教育の質の維持・向上に向けた様々な取組が各学校で行われています。私が普段行っている業務も、職員の提案によって改善されることがあります。子供たちのランドセルの色が黒や赤が当たり前ではなくなったように、私たちが日々行っている業務の取り組み方にも当たり前はないはずです。業務の遂行に当たっては、情報共有、業務分担、ICT活用など、他に工夫・改善できる点はないか課題意識をもち、前向きに取り組んでいく姿勢が必要です。業務改善の実現により新たに生まれた時間を有効活用することで、より充実した児童生徒のための教育活動が行えるようになり、職員の意欲、子供たちの元気、そして学校の活性化に繋がっていくものと考えます。

与えられる時間の長さは、みな同じです。業務改善を推進し、職員がワーク・ライフ・バランスを図りながら心身の健康保持に努め、子供たちや職員の笑顔があふれる新年を迎えてほしいと思います。

## 交通法令の遵守と安全運転を！

県内において、職員の交通法令違反及び交通事故が依然として後を絶たない状況にあります。これから年末年始を迎えるに当たって車を運転する機会が増えますので、より一層の交通法令遵守と安全運転に努めてください。

また、飲酒の機会が増えると思います。飲酒運転は絶対に許されない行為です。前日の飲酒による二日酔いの状態も含めて、絶対、飲酒後に自動車等を運転することがないようにしてください。

## フレッシュ研修・ステップアップ研修

### 【地区フレッシュ研修研究授業研修「教科・道徳」】

11月16日（火）に丹波小学校で実施しました。7月以来の集合研修、初めての終日開催ということで、研修の合間に初任者同士の交流が深まる機会になりました。

### 【地区ステップアップ研修校外研修】

10月12日（火）に南さつま市防災センターで実施しました。「カリキュラム・マネジメント」の演習では、児童生徒の抱える課題の解決策について、積極的に意見交換する姿が見られました。

## 令和3年度全国学力・学習状況調査南薩地区結果

		南薩	県	全国
小6	国語	9.4	9.4	9.1
	算数	11.5	11.4	11.2
中3	国語	8.9	9.0	9.0
	数学	9.0	9.0	9.1

【地区・県・全国の正答数】

各学校の取組と個々の児童生徒の頑張りが、表のとおり「正答数」として現れてきています。南薩地区の特徴として挙げられるのは「無答率が低い」ところです。毎日の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実践と、児童生徒が粘り強く良問に取り組んでいることが本地区の強みです。

## ～ 2学期の取組を振り返って ～

### 【文部科学省・県・地区研究公開】

#### 【令和2・3年度文部科学省人権教育研究指定校研究公開】

11月18日(木)に、南さつま市立金峰中学校で、「人権教育」の研究公開が行われました。公開授業の総合的な学習の時間では、進路保障の観点から、就職差別について考えました。生徒たちは、「自分の能力と関係のない項目で選考されたくない。」とその問題点に気付いていました。また、英語科の授業では、ジグソー法を取り入れた授業が展開され、【グループでの協働学習の様子】お互いを尊重しながら協働して学ぶ姿が見られました。その後の授業研究では、参加者から活発な意見が出され、人権教育への理解を深めていました。



#### 【第45回鹿児島県へき地・小規模校教育研究大会南薩(川辺)大会】

11月22日(金)に「ふるさと南薩(川辺)に夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成」をテーマに、南九州市立大丸小学校で複式指導の研究授業が行われました。4年生2人はタブレットを活用した要約文の校正、3年生1人は説明文における作者の主張の読み取りを行いました。両学年ともにICTの「やり直しが容易」である強みを十分に生かして活動していました。また、南九州市立高田小学校の「地域と連携した食農教育」についての研究発表もあり、参加者にとって学びの多い研究公開になりました。



【電子黒板を使った発表の様子】

#### 【令和2・3年度南薩地区研究協力校・枕崎市教育委員会「小中連携教育」研究協力校】

枕崎市立別府小・中学校では、義務教育9年間を通じて、児童生徒の交流や地域と連携した授業づくりなど「学校・家庭・地域」が一体となって、児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高める取組を積極的に行っています。

11月24日(木)に行われた研究公開では、小学校5年生の社会科及び中学校2年生の外国語の授業が提案されました。授業参観や研究協議を通して、小中連携の在り方について学びを深める貴重な機会となりました。



【グループでの意見交流の様子】

## 南薩地区道徳教育研修会

心情メーターや役割演技等を通して、児童生徒が主体的に自分との関わりで考え、多様な考え方や感じ方を交流する学習活動の展開がなされました。道徳教育の一層の充実が図られる機会となりました。



10月28日(木) 立神小学校



10月12日(火) 立神中学校

### 「学びを止めない」学校の取組

1学期に引き続き、各市教育局委員会と合同で13校(枕崎中・桜山小・西指宿中・川尻小・柳田小・万世小・万世中・金峰中・加世田小・川辺小・知覧小・勝目小・南九州市立別府小)の学校訪問を行いました。いずれの学校も自校の教育課題解決に向けて、全職員で教育活動に積極的に取り組まれました。訪問に対し御協力いただき、ありがとうございました。

～ 2学期学校訪問 ～

